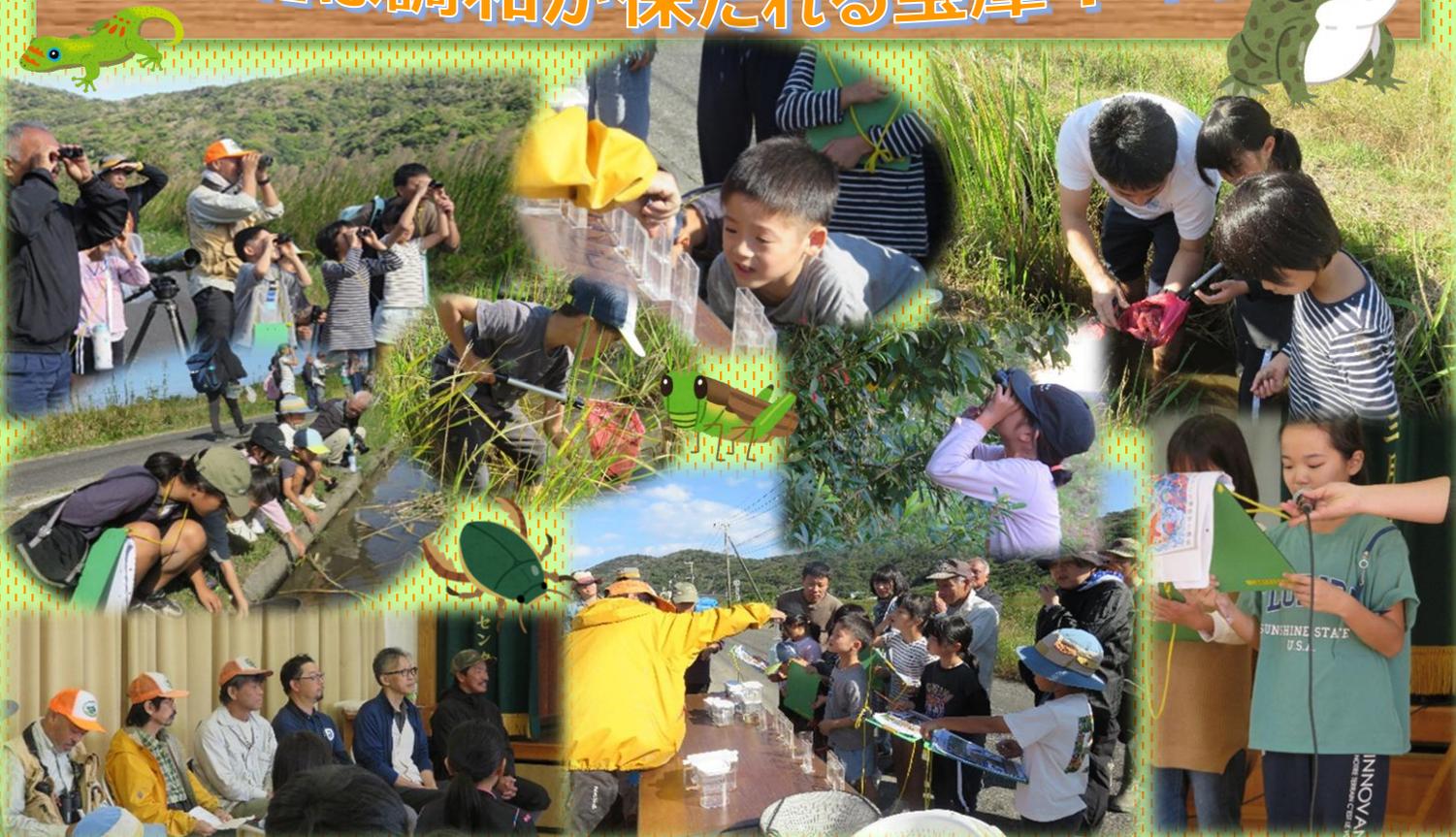


れいわ ねんど こ はくぶつ がくし こうざ
令和7年度 子ども博物学士講座
 だい かいこうざ しぜん ぶんか きょうぞん
第6回講座「自然と文化の共存！」
 あきな ちょうわ たも ほうこ
『秋名』は調和が保たれる宝庫！！



だい かい こ はくぶつ がくし こうざ がつ にち かいさい こんかい あきなしゅうらく
第6回子ども博物学士講座を11月29日（土）に開催しました。今回は、秋名集落
 にお邪魔して、自然と歴史に触れさせていただきました！



あきな コミュニティセンターで【りゅうがく館 向田さん】から、秋名集落の文化や歴史を学
 びました。秋名は大きな川の近くに集落を作り、川から水を引いて田んぼが栄えた場所で、
 いつまでも豊作で栄えていけるようにショショガマや平瀬マンカイなどの祭事も長く続いてい
 ること、伊東家屋敷の石垣や、奉安殿、刀鍛冶の跡地など、とても貴重な文化財が残って
 いる場所だということを教えていただきました。

つぎに、【奄美自然環境研究センターさん】から、この冬の時期に野山や田んぼで見ることのできる生き物や、奄
 美大島特有の生き物を教えていただいて、いざ！秋名集落の散策へ！！

野鳥や遠くの山で動く生き物を双眼鏡で追ってみたり、田んぼをすくって泥の中から昆虫を探したりしました。
 サシバや、ゲンゴロウなど本当にたくさんの生き物を見つけて、生き物ビンゴで誰が早く揃うか競いながら楽しみまし
 たね。水辺の生き物が育てた稲からお米が取れて、残った藁はショショガマの時に来年の豊作
 を願う材料になる。そしてまた次の年へとつながっていく、生き物と自然、人々の暮らしが
 循環しながらかわりあって共存していることを実感した内容でした！！

講座参加者：28名（児童:18名 保護者他:10名）

次回の子ども博物学士 最終講座は2月7日（土）

開校式に併せて、今年度皆さんが学んだことを発表する会を実施します！

プレゼントもあるよ！

